

三保のあの頃 よもやま話(4) 御穂神社の神馬

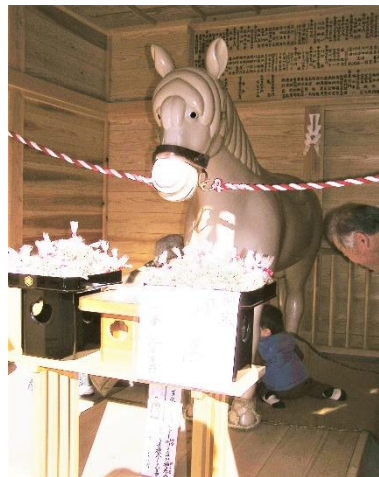
多種多様な今の時代では娯楽といっても人それぞれだが、まだテレビが出始める頃までは神社のお祭りが皆の一番の楽しみだった。御穂神社の祭礼では境内のアチコチから小学校の入り口まで露天商が店を構えとても賑やかで、甘い落花糖やタンキリ飴に赤い帯で巻かれたニッキが売られ大人気だった。

中でも三保で生まれ育った子供たちにとって一番の思い出は明神さん(御穂神社)の白馬だろう。『叶え馬』と呼ばれ、願い事は何でも叶うと云われる神馬で、特に小さい子供たちにはオネショが治るという謂れがある。祭礼時には神馬舎の扉が開いて、子供たちは白馬の腹の下をくぐり、供えてある豆を食べる風習がある。

この馬には安永 2 年(1773)に起きた駿府大火の時に、静岡浅間神社から 2 頭の馬が御穂神社へ逃げてきて、鎮火後に 1 頭は浅間神社へ戻り、

1 頭は残って三保に鎮座したとの伝承がある。北原白秋が『茶つきり節』を作詞する際にもその逸話を取り入れて歌詞の第 20 番に

「しずや賤機浅間さまの 白いお馬よ 三保へお馬よ
なぜ逃げた チャッキリチャッキリチャッキリナ」と詞にした。



二代目 神馬

江戸時代の名工左甚五郎作と伝えられ親しまれてきた神馬だったが、経年の劣化で足が弱り惜しまれつつ引退し、平成 15 年に新しい馬と交代した。この 2 代目は初代に比べると現代的な可愛い目をしているが、今までと同様に訪れる参拝客を見守っている。近年は高齢者もシモの心配解消の願いを込めて、神馬の腹の下をくぐっている。不安に思う方は 2 月 15 日に開催される御穂神社筒粥祭には神馬を参拝してみても如何？ お薦めです。

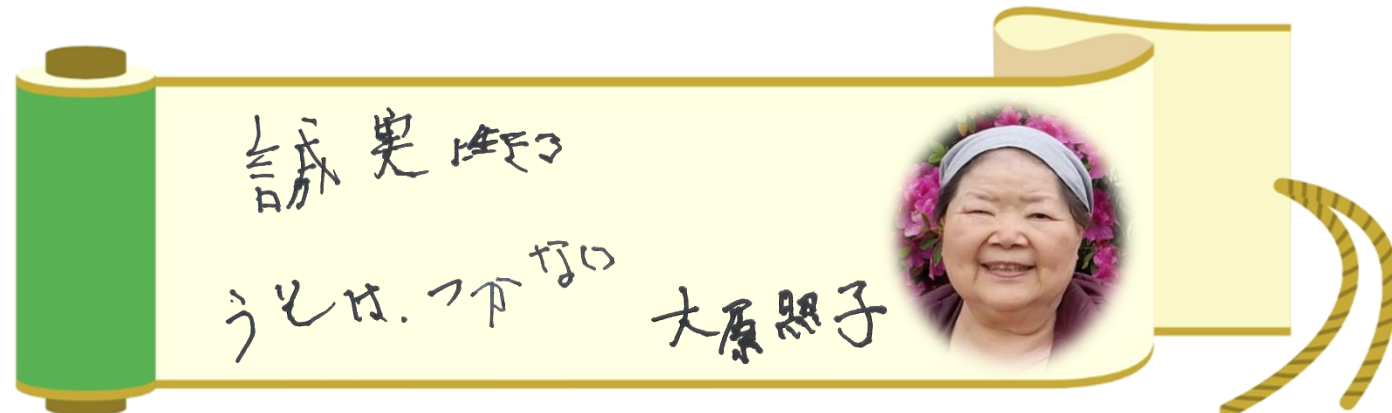
北村昭夫 (三保在住 富士山世界遺産ガイド)



初代 神馬

デイサービスご利用

大原照子様(82歳)のお言葉 「誠実に生きる うそはつかない」



そな〜れ通信

「寒中見舞い申し上げます」

新年早々、能登半島地震・航空機衝突火災…2024 年は悲惨な幕開けとなってしまいました。震災被害状況が明らかになるにつれ、介護事業者として身につまされる思いです。心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。



『認知症の人をみんなで支える

地域づくり講演会』開催



講師：稲葉修氏

昨年 1 2 月 1 2 日三保生涯学習交流館において、木工房「いつでもゆめを」代表稲葉修氏を迎えて認知症の方々の仕事場「いつでもゆめを」の出会いから繋がり、導かれて、できあがった共生空間の 10 年の歩みを語って頂きました。当日は、三保地区の方々を中心に、地域役員・介護福祉関係者も含め 50 人余りの方々に参加して頂きました。主に 70 代の方が多く、介護の経験者・ボランティア・今まさに介護中で悩んでいる方・そして今後自分が認知症になったらどうしようと不安を抱えている方等、講演会に参加のきっかけは様々でした。

稲葉さんの講演の中で「共生社会は。諦めない。排除しない事で成り立つ」深く印象に残りました。「大切な事は目に見えない」「できる事に眼を向ける」理解しているようで実際に行動に移すことは容易ではありません。また、木工房の経営理念である「共生の五皆」は反響が大きく今だけでもいい。今日一日を生きている大切さに共感の声が上がり、切羽詰まった思いが少し和らいだとの感想もありました。アンケートの意見欄には

- ・認知症の方に対する対応が難しい、接し方を教えてほしい
- ・認知症の進行を遅らせるにはどうしたらいい？

など認知症についての質問が多数あり、実際に介護に直面している方々が不安や悩みを語り合える場が求められていると実感しました。

来年(2025年)には65歳以上の5人に1人は認知症になると言われています。行方不明者も18,000人(2022年)と10年間で2倍に増えているそうです。

認知症基本法ができたからと言って何か急が変わるわけではありません。介護保険を申請しても誰でも入所できる状況ではありません。誰かが何とかしてくれるのではなく自分達が主体となって「共に支え合える地域」を生み出していかなければなりません。

3月12日(火)14:00~
三保生涯学習交流館
認知症について(仮)

稲葉さんの講演会の出会い(ご縁)を大切に“認知症の人をみんなで支える地域づくり”の一步を踏み出したいと思います。左記のとおり講習会を企画しています。お気軽にご参加ください。

令和6年1月号 第95号
★デイサービスそな〜れ
〒424-0901
静岡市清水区三保 1800-1
TEL 054-335-0400

★小規模多機能ホームそな〜れ
★グループホームそな〜れ
★居宅支援事業所そな〜れ
〒424-0901
静岡市清水区三保 1598-14
TEL 054-335-0376
FAX 054-335-0506
Email npo.sona-re@za.tnc.ne.jp
URL https://sona-re.net
X @sona_re



ほっとアルバム

デイサービスから

◆初詣

御穂神社に新年のご挨拶に。
今年も良い1年になりますように
願いを込めて。



◆梅見物

1月なのにもう梅！？
日本平梅園では紅白の梅がちらほらと。
だんだんと春が近づいてきているのですね。



小規模多機能ホームから

◆焼き芋

そな〜れ畑でとれたさつま芋を
焼き芋にしました。
火の前で暖まりながら食べた
焼き芋は最高でした！



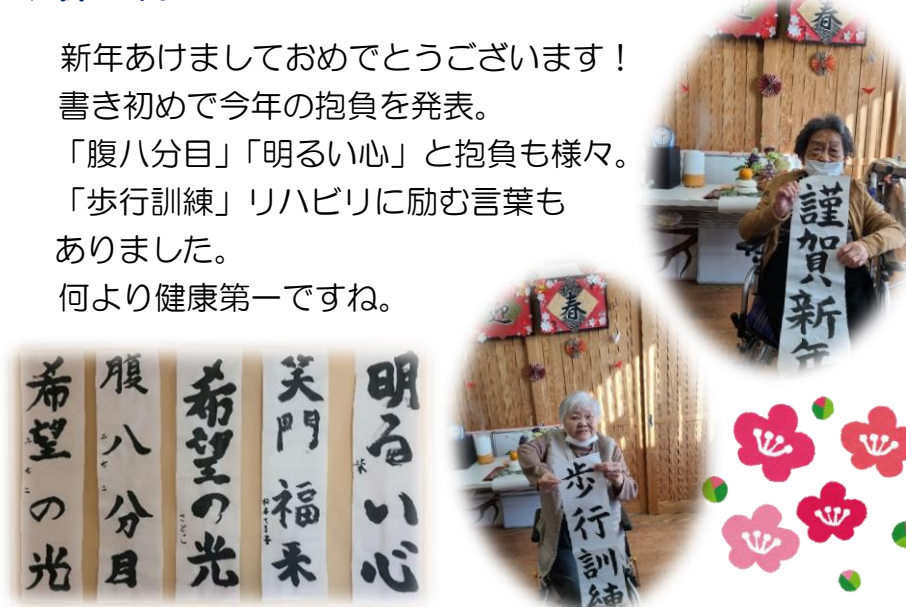
◆クリスマス

Merry Xmas！！
サンタクロースから
プレゼントをもらい、
ケーキを食べてクリスマスを
楽しみました。



◆書き初め

新年あけましておめでとうございます！
書き初めで今年の抱負を発表。
「腹八分目」「明るい心」と抱負も様々。
「歩行訓練」リハビリに励む言葉も
ありました。
何より健康第一ですね。



グループホームから

◆クリスマス

ロールケーキと一緒に
デコレーションしたり、
スタッフによる紙芝居で笑ったり。
プレゼントのお菓子は入居様が
サンタになって手渡してくださいました。



◆おでん

寒い時期にぴったり！
味しみしみに煮込まれたおでんをお鍋
いっぱい作りました。
好きな具を自ら選んで…おかわり自由！
皆さん喜ばれていました。



◆どんど焼き見学

たくさん着込んで三保の海まで
ドライブ。
車椅子の方々も立ち
上がって雪の富士山
と海を眺めながら
心もほっこり♪

